

イエス、驚く

シリーズ～福音の力～

2020/02/02

ルカによる福音書7章1～10節

イエスは、民衆にこれらの言葉をすべて話し終えてから、カファルナウムに入られた。ところで、ある百人隊長に重んじられている部下が、病気で死にかかっていた。イエスのことを聞いた百人隊長は、ユダヤ人の長老たちを使いによって、部下を助けに来てくださるよう頼んだ。長老たちはイエスのもとに来て、熱心に願った。「あの方は、そうしていただくのにふさわしい人です。わたしたちユダヤ人を愛して、自ら会堂を建ててくれたのです。」そこで、イエスは一緒に出かけられた。ところが、その家からほど遠からぬ所まで来たとき、百人隊長は友達を使いによって言わせた。

「主よ、御足労には及びません。わたしはあなたを自分の屋根の下にお迎えできるような者ではありません。ですから、わたしの方からお伺いするのさえふさわしくないと思いました。ひと言おっしゃってください。そして、わたしの僕をいやしてください。わたしも権威の下に置かれている者ですが、わたしの下には兵隊がおり、一人に『行け』と言えば行きますし、他の一人に『来い』と言えば来ます。また部下に『これをしろ』と言えば、そのとおりにします。」イエスはこれを聞いて感心し、従っていた群衆の方を振り向いて言われた。「言っておくが、イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。」使いに行った人たちが家に帰ってみると、その部下は元気になっていた。

百人隊長の部下が病気になった

- 「百人隊長」とは
 - イスラエルに駐屯していたローマ軍の歩兵百人を指揮する指揮官
 - ローマ兵は暴力的だったので恐れられていた
 - しかしこの百人隊長は「ユダヤ人を愛して、自ら会堂を建ててくれた」人であった
- 彼の部下が「病気で死にかかっていた」
 - 彼自身でも家族でもなく部下のために
 - イエス様の噂を聞きつけ癒していただこうと思った

ユダヤ人の長老たちが代わりに来た

- **自分ではなくユダヤ人の長老たちを派遣した**
 - 「ユダヤ人の長老たちを使いによって、部下を助けに来てくださるよう頼んだ」
- **異邦人であり百人隊長であることで遠慮した**
 - 「わたしはあなたを自分の屋根の下にお迎えできるような者ではありません。ですから、わたしの方からお伺いするのさえふさわしくないと思いました。」
- **長老たちは喜んでこの仕事を引き受けた**
 - 「そうしていただくのにふさわしい人です」
 - ユダヤ人たちから慕われ、尊敬されていた

家に着く前に使いがやって来た

- 長老たちの願いに応え、百人隊長の家に向かうが、家の近くまで来たとき、使いが伝言を持ってきた
 - ◻ イエス様をお迎えする資格はない
 - ◻ しかし、病気に「**ひと言**」命令して癒して下さい
 - ◻ 兵隊が自分のひと言で何でもやるように、あなたに命じられれば病気は治るはずです
- イエスはこれを聞いて、感心して言われた
 - ◻ 「言っておくが、イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。」

イエス様を驚かせた百人隊長

- イエス様が「**驚いた(感心した)**」と記されている、唯一の箇所！
 - ◻ 原語“サウマゾー”：驚く・不思議に思う・感心する
 - ◻ 民衆が驚く：「人々はみなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに**驚いて**…」4:22
 - ◻ ファリサイ派が驚く：「彼らは、民の前でイエスのことばじりをとらえることができず、答えに**驚嘆して**黙ってしまった。」20:26
- この異邦人の百人隊長だけがイエス様を驚かせた！

イエス様を驚かせる信仰

- 自分が何者であるか自覚する
 - 本来滅ぶべき罪人に過ぎない
- イエス様が何者であるか信じる
 - 全知全能の神である
 - どのようなことでも可能である
- 万物はイエス様の権威の下にある
 - イエス様の言葉に(名前に)従う
- イエス様は私たちの「**信仰**」を見ておられる
 - 「言っておくが、イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。」

福音の力

「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、**信じる者すべてに救いをもたらす神の力**だからです。」ローマ1:16

福音の力

「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、**信じる者すべてに救いをもたらす神の力**だからです。」ローマ1:16

信仰によって神様と
私たちの間に
橋が架かる!